

活セン ニュース

発行：いなべ市市民活動センター TEL：0594-74-5806 FAX：0594-74-5834



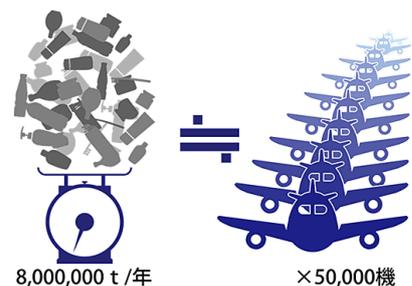
世界中の海が現在、かつてない脅威にさらされています。過去 150 年間に、サンゴの生体の約半数が失われました。この 40 年間に、プラスチックによる海洋汚染は 10 倍に悪化しました。漁業資源の 3 分の 1 は、乱獲状態にあります。酸欠海域とよばれる、酸素の欠乏で生物が生存できなくなった海底砂漠は、面積と数の両面で急速に広がっています。

(世界海洋デーに寄せる国連事務総長メッセージ抜粋)

いま！！プラスチック汚染が深刻です。

プラスチックの 9 割がリサイクルされず、毎年 800 万トン以上のプラスチックがゴミとして海に流れ込んでいます。2050 年には、魚の量を上回るとされています。

世界中で、今、危惧されているのがマイクロプラスチックによる環境破壊です。昨年 11 月、国連事務総長から汚染は最悪の状況になっていると警告が出ています。



ジャンボジェット機 5 万機分の重さ

海に投棄されたプラスチックが細くなり、『マイクロプラスチック』として海に漂っています。これを魚は体内に取り込んでしまっています。さらに海には『ゾー・プランクトン』という小さなエビのようなプランクトンがいるのですが、この体内からもマイクロプラスチックが発見されています。魚は、マイクロプラスチックそのものも食べているし、細かなプラスチックを食べたプランクトンも食べています。

「我々はマイクロプラスチックというエサを、魚に与え続けているわけなのです」※『プラスチックスープの海』の著者で、「アルガリータ海洋調査財団」設立者のチャールズ・ムーア氏の言葉。

ふくろはいりません。
マイバッグを持って
います！



買い物でプラスチックの袋は、受け取らない。これだけでも、プラスチックを減らせます。今すぐできます。マイバッグを持参しましょう。この積み重ねで、プラスチックの袋の利用が減れば、生産も減ります。意識を変えていきましょう。

ボランティアのつどい

11月29日(金)、市民活動センターにおいて「ボランティアのつどい」をいなべ市社会福祉協議会と共催しました。

今回は講師にNPO法人Mブリッジの米山哲司氏を迎え、「ボランティアの力が地域への力」と題して講演いただきました。市内のボランティア団体のみなさん50人ほどの参加があり、SDGsと絡めたボランティア活動の重要性を説明していただきました。



「SDGs(エスディーゼーズ)」とは、国連サミットで採択された2030年までに世界を変えるための17の目標です。世界を変えるためにまず、自らのできること、地域でできること、その積み重ねが日本を変え、世界が変わる目標になります。

地域を変えることは、私たち一人ひとりの考えや行動を変えることで、住みよい社会にしていく一歩です。そんな話をわかりやすく説明していただきました。

伊賀市山田地域住民自治協議会の皆さんが、市民活動センターの視察にみえました。

12月7日(土)、伊賀市山田地域住民自治協議会のメンバー22人が、いなべ市市民活動センターや市内のボランティア活動団体の取組を参考にしたいと視察にみえました。

これまでのいなべ市市民活動センターの事業や活動を紹介しました。また、いなべ市内の団体について事前に質問があった団体の方3人に同席していただき、活動紹介と質問に応じました。

参加者からは、多くの質問をいただき、皆さんの熱心な様子に感心しました。

山田地域は、山間部で、人口も減っていきなかつ、地域のつながりが重要になっていきます。いなべ市は、大企業も多く、人口の横ばいでうらやましいと話されていましたが、地域の盛り上げ方などを模索されている協議会の皆さんの熱心な活動が、私たちにとっても刺激になりました。



第3回 三重 NPO グランプリ

「NPO 法人 ヴェリタス」が 準グランプリに！



12月14日(土)みえ県民交流センターにて、第3回三重NPO グランプリ決勝戦が行われました。県内4会場で行われた予選会で選ばれた9団体が地域の課題に取り組んでいる活動のようすを発表しました。

その中で、学習支援、引きこもりなどの支援を行なっている「NPO 法人ヴェリタス」が、見事、準グランプリとなりました。NPO 法人ヴェリタスの松宮さんは「活動を野球に例えるならボール(課題)を受け取ったら、とにかくその子のところへそのボールを持って駆けつける、話を聞くことが大事だと思っている」と説明。そして活動の成果を「自身がうれしかったこと」と題し、学習支援や就労支援後のデータをとりあげていました。

「認知症予防ボランティアかのん」は、今後増加するであろう認知症の方とその家族に笑顔になってほしいと取り組んでいる活動について発表しました。

また、この日は、東海ろうきんによる「子どもの未来応援寄付金」の寄贈式も同会場で行われ「子育てサロンさくらんぼ」に寄付金が贈られました。より多くの人に市民活動を知ってもらおうと始まったNPO グランプリ。3つの団体がこれからもさらに活躍してほしいと願います。



三重 NPO グランプリ決勝戦に出場した9団体
最前左から3人目 NPO 法人ヴェリタス
二段目左から2人目 認知症予防ボランティアかのん



東海ろうきんからの寄付金を受け取る
子育てサロンさくらんぼ

サンタの行進

みえきた市民活動センター主催で開催する「サンタの行進」、サンタクロースに扮したボランティア活動団体の皆さんが桑名市寺町通を行進します。

今年で5回目となり、12月8日(日)に買い物中のお客さんや、商店の方々からも声援をいただきながら歩きました。小さな子どもたちにはサンタからのプレゼント(いなべおもちゃ病院からの提供)もありました。いなべ市の団体も毎年参加します。ボランティア活動や市民活動に境界はなく、多くの仲間のつながりが、活動の発展につながります。



桑名市の寺町商店街南口公園に集合。



ガチャポンで募金呼びかけ。
中に高校生がデザインした缶バッジと
寺町商店街で使える商品券が。



サンタに扮して市民活動応援と募金を呼び
かけながら寺町商店街を行進しました。

新年明けましておめでとうございます。今年も、市民活動センターの運営に尽力し、ボランティア活動が盛んな「いなべ市」を目指して頑張りますので、ご協力お願い致します。

いなべ市市民活動センター 職員一同

受託団体

NPO 法人 いなべ市民クラブ

理事長 陰地 吉照



NPO カフェのご案内

毎回、いろいろなテーマで話し合います。

コーヒーを飲みながら、いろいろな価値観に触れることも、たのしいです。

お気軽に、ご参加ください！

1月はお休みし、員弁郡・市障がい児(者)を守る会主催の映画会に参加します

とき 1月18日(土) 9:30~11:30

ところ 員弁コミュニティプラザ(員弁町楚原 940)

TEL 0594-74-4144

参加費 無料

内容 「いろとりどりの親子」の鑑賞

*世界24カ国で翻訳された大ベストセラーの映画化
(普通とは違う子どもたち、親の戸惑いと愛情、
6組の親子のドキュメンタリーです)

2月のNPOカフェ

とき 2月15日(土) 9:30~11:30

内容 「障がいについて」



いなべ市市民活動センター

いなべ市員弁町笠田新田 111 員弁老人福祉センター内

TEL (0594) 74-5806 FAX 74-5834

E-mail i.shiminkatu@m7.cty-net.ne.jp

HP <https://inabeshiminkatu.jimdo.com>

委託事業運営者 NPO 法人 いなべ市民クラブ

